

参加者

伊東、梅沢、河原、北島、柴崎、鈴木、  
中島、中野(茂)、町田、安田、遊佐、吉野、

ゲスト

秋元(ニューフラットGS参加)

BMW RS Club

# かわらばん

Nov 2, '97

行く秋を追って  
下仁田から韋崎へ

紅葉から落葉へと季節は変わり、三日はもう鷺(おとり)神社の「一の酉」、そしてこの七日は立冬で暦の上では冬を迎える事になります。しかしこのところ初秋のような爽やかな日々に恵まれ、大気は清澄、空気も澄み切って何とも美しく「爽やかに流れる雲へ歩きけり」という加藤楸邨の句そのままの毎日が続いています。そんな見事な天気に恵まれた中で、今月のツーリングが催行されました。久々にバイクで走れる嬉しさに、ホットしたり感激したりです。

張り切って関越自動車道へと向かうと、遊びに出る我々に嫉妬するかのように、休日出勤の(?)ボリ公が環七の手前でネズミ取り実施中。運の悪い車が御用になっていましたが、私は遙か手前でレーダーが働き、ゆっくりと走って彼等ににこやかに笑いかけて通過です。しかし道は段々と混みだし、高速の入り口から延々と車が数珠つなぎ状態となり、遅刻者も居て九時の出発となりました。三芳SAから高速に出る処までも車が並び、それが埼玉県を抜けるまで続いていました。こういう時こそバイクです。

上里SAに飛び込むと町田さんと中野さんがシビレを切らして(聞かないけどキットそぞろだったと思います)待っていました。そしてオシッコをしてすぐに下仁田へと向かいます。上信越道もかなり混んでいました。天気はますますビューティフルです。高速を降りると周囲には柿が赤い実をつけ、鶏頭とサルビアが燃え立つような紅さで咲いています。此処まで出発して122キロ。この辺りは名高いコンニャクの産地で、其処ここに看板が目立ちますが、そんなにコンニャクが食えるか!周囲の畑では鍋に入れると旨い、あのズングリとした下仁田ネギが一束500円で売られていました。

「おいでやんし南牧村へ」という看板をくぐり、県道「下仁田-上野線」で南牧村から塩沢峠へと向かいました。今年は冬の到来が遅いせいか、この辺りでは今が紅葉の最盛期で、葉の赤く変わる木々は少ないものの、セピア色に変わった木々の中に、常緑樹の緑が油絵の具で描いたように混じり、とても見事な景観を呈していました。山を下ってホットする間もなく、国道124号「上野一小海線」へと入りました。

日航機墜落事故の際に日本中に名を知らしめた、あの上野村から御巣鷹山を左手に見上げるようにして、ブドウ峠へと険しい道を上り始めました。静けさの中に前を行くバイクの排気音のみが響き、とてもあんな無残な事故が有った所とは信じられない思いでした。私事で恐縮ですがカミサンの友人が、あの事故の際に20代の若さで息子を亡くし、いま自分の伴が丁度そんな年になっているだけに、此処を通るといつも胸が締めつけられ、今度も縁に包まれた山を見上げ、胸の中でソット彼の冥福を祈ってきました。

険しい山を登って行くと、木々が段々と濃い色に変わり、よく見ると大変な数のカラマツで、登り切って来た方を振り返ると、自分達はまさにその只中に居て、「カラマツの林を過ぎてカラマツを見る」というあの有名な北原白秋の世界そのものでした。フランスの印象派の絵を見るような、そんな感じもする素晴らしさでした。

此処まで休み無しに走り続け、さすがにメロメロで峠の上で大休止を取りました。道を下り始めるとカラマツの落ち葉が道路の端を埋めつくし、それが道の所々に散らばり、前を走る仲間が時おり後輪を取られていきました。

山を下って信号待ちで後ろを振り向くと、余りの紅葉の見事さに皆の歓声を上りました。海の口の町に入ると、東京から200キロ。これから更に信州峠を越えるからと、ここで殆どの人がガス補給をしました。久々のツーリングのせいでしょうか、皆が疲れたとか腹が減ってきたとか言いますが、目指すホウトウ屋は未だ未だズット先です。

増富ラジウムラインという塩川沿いの道を走ると、ちょうど奈良俣ダムの奥の「湯ノ小屋林道」のような感じとなり、車を止めて辺りの紅葉を見る人々で賑わっていました。岩山に張り付くような紅葉がそれは見事でした。

長野県の看板と共に須玉町の標識が現れ、その先から茅ヶ岳広域農道へ入り、明野村から道が下りになりかけたところで、目の前に雪の無い富士山が雲間から姿を見せ、またまた我々の目を楽しませてくれました。

韋崎の町に入り、休日で混みあう道を双葉方面へ向かって走ると、近くの航空学校の練習機がすぐ近くを飛びまわっています。やっと「小作」という以前にも来たホウトウ屋に着いたのは、もう2時少し前になってからでした。

去年の7月にクラブで此処を訪れた時には、ものすごい猛暑の一日で、鉄鍋で煮えたぎるホウトウを食べ、外に出ると飲んだビールが全部吹き出すかのような大汗をかいたことを思い出しました。今日は二階に部屋が取ってあり、下駄箱にまでRSクラブ様と書いてあってビックリです。壁には本邦初公開のクラブ旗を飾りました。

馬刺し、ツクネ、そして煮込み(馬の臓物のことでした)で次々とビールを飲み、仕上げに熱々のホウトウを食べました。殆んど休みらしい休みを取らなかったので、本当に何もかもが美味しく感じられました。空腹が最高の調味料とか言いますが、これだけ腹がすき、喉が渴けば何を食っても旨いかも知れません。それにしても疲れました。

大分アルコールが入った頃に、町田さんの「政治座談会」ならぬ「性事座談会」が始まり、食べ物を運んできた女中さんまで笑いをこらえていました。要点を纏めると65歳くらいにならないと、本当の女の良さは分からないとか。浮気をするような主婦が居るのは、近頃の若い男がダラシがないからだと、一同カツを入れられた思いでした。

4時近くになって此処で解散となり、北さんの案内でブドウをお土産を買いに行く人、そのまま双葉から中央高速に乗る人など、思い思いに帰途につきました。帰りの高速も首都高も大渋滞でした。

今日の幹事役をやって下さった北島さん、いろいろとご苦労様でした。すこし疲れましたが、行く秋を心おきなく堪能できました。なお今年は天候不良で走る日が少なかったので、12月の第一日曜日には去年同様に走り、箱根の下の方で温泉にでも入ろうという企画が有るそうです。奮ってご参加下さい。なお忘年会は別の日に開催を予定しています。